

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2023年12月6日 実施報告

参加者：親子11組（子ども12名）

担当：道城先生/心理学部学生11名（C1・C2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育士スタッフ 下村・福本

内容：保護者の居場所づくり

お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ 自由遊び

今日の「どーじょーせんせいとあそぼう」は「氷の世界で遊んじゃおう！」をテーマに、楽しい親子のふれ合い遊びと、段ボール箱を使ったダイナミックな身体遊びを行いました。

いつものように初めての方に自己紹介していただいた後、親子のふれあい遊びとして、「ひつつきもつつき」と「むっくりくまさん」を楽しみました。「ひつつきもつつき」では、「くつついた」のところでお子さんと保護者・学生たちのおでこやおなか、おしり同士をくっつけると、お子さんたちは面白がって笑い声をあげていました。「むっくりくまさん」では、どーじょー先生がクマに扮して寝ていると、お子さんたちが恐る恐る近づいてのぞき込み、「ガオー」と突然起き上がるのを待っているのがわかりました。

最後に氷に見立てた大きな白い段ボール箱がたくさん運び出され、これをお子さんたちが押して滑らせる遊びを行いました。小さなお子さんはつかまり立ちで一步一步、大きなお子さんは両手で抱えて一気に“氷”を運んでくれました。小さなお子さんが運んだ氷を大きなお子さんが積み上げ、これを崩すと、お子さんたちから歓声が上がりました。崩れた段ボールを前に、お子さんたちが突然、体を揺らして、まるで楽器のように箱を両手でたたき始めました。私たちが想定していない遊びが始まり、お子さんたちの豊かな遊ぶ力に私たちが驚かされました。今日も嬉しい驚きがいっぱいのひと時でした。



文責：村井

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2023年10月11日 実施報告

参加者：親子 10 組（子ども 14 名）

担 当：道城先生/心理学部学生 11 名（A1・A2 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育士スタッフ 高木・矢崎

内 容：保護者の居場所づくり

お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ 自由遊び

いよいよ後期の特別プログラムが始まりました。今日は「どーじょーせんせいとあそぼう」です。いつものように学生がインタビューアーになって、ご参加のみなさまに自己紹介いただきました。お名前呼びでタンバリンをたたいてもらったあとは、手遊び「おやつたーべよ」を一緒に歌って踊りました。1 歳のお子さんは体をゆすって、2-3 歳のお子さんは飛び跳ねながら、そして 0 歳児さんは周りを見渡して、それぞれ音楽に反応してくれていました。興味深かったのは、0 歳児さんのところにお子さんたちがなんとなく集まって来ていたことです。気にしていないようで実はよく見ている、お子さんたちの優れた観察力に敬服しました。

次に、大型絵本「変身トンネル」の読み聞かせを楽しみ、最後にトンネルをくぐって変身する遊びを行いました。子どもたちはウサギになったり、サカナになったり、タコになったり、カニになったり、「変身」して大はしゃぎ！その後、どーじょー先生からご自宅でもできるトンネル遊びについて説明がありました。

名札やマイク等のシステムが変わり、確認しながらのプログラムになりましたが、ご参加いただいたみなさまのご協力のおかげで、無事に終了することができました。ありがとうございました。これからも設備やプログラム内容等を改善しながら、よりよい環境づくりに努めてまいります。



子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2023年7月5日 実施報告

参加者：親子6組（子ども7名）

担当：道城先生/心理学部学生12名（C1・C2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育士スタッフ 下村・福本

内容：保護者の居場所づくり

お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今日は前期最後の「どーじょーせんせいとあそぼう」でした。このプログラムは、「まなびー」がお子さんたちだけではなく、保護者のみなさまにとっても居心地の良い場所になることを願って実施されています。

初めてのご参加の方に自己紹介していただいた後、恒例の「質問しちゃう！」コーナーがあり、お子さんの名前の由来などをお聞きしました。どのお子さんのお名前も、保護者みなさんの愛情がたくさんこもっていて、お聞きしていた学生と教員は感激で目頭を熱くしていました。

次に絵本「ぞうくんのおさんぽ」の読み聞かせがあり、お散歩中に学生演じる虫たち（ダンゴムシ、カマキリ、カメムシ、バッタ）と出会うというストーリーが展開されました。お子さんたちは画用紙に描いた虫の絵を気に入ってくれたようで、手に取って運び、どーじょーせんせいに渡してくれていました。それから一緒に虫の動きを練習し、「昆虫太極拳」を踊りました。

最後になんと！本物の虫が登場！カマキリとバッタとカナブンの入った容器を、最初は遠巻きに見ていたお子さんたちは、ジリジリと近づき、円になって容器の中をじっとのぞき込んだり、容器をゆすったり、「こわ〜い」と言いながら指でつまんだりしていました。終了時間になり、「虫さん、バイバイ！」とお別れを言ってプログラムを終えました。外は今にも雨が降りそうなお天気でしたが、「まなびー」ではまるで外遊びのように、虫とふれあう楽しい時間となりました。



文責：村井

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2023年6月7日 実施報告

参加者：親子 12 組（子ども 14 名）

担 当：道城先生/心理学部学生 12 名（B1・B2 班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育士スタッフ 福本・高木

内 容：保護者の居場所づくり

お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今日は「どーじょーせんせいとあそぼう」の2回目でした。このプログラムは、「まなびー」がお子さんたちだけではなく、保護者のみなさまにとっても居心地の良い場所になることを願って実施されています。

最初に、学生がインタビュアーになって、初めてのご参加の方に自己紹介していただきました。次は恒例の「質問しちゃう！」コーナーです。今回は学生が保護者のみなさまに聞いてみたいことを質問しました。「スマホの待ち受け画面は？」という質問には、スマホの画面を見せてくださる等、笑顔で応じていただきました。

質問コーナーの後は、親子のふれあい遊びとして、今、大人気の手遊び歌「おやつたーべよ」を一緒に楽しみました。最初はびっくりしていた小さなお子さんたちも、「いちご、ごーごー」「パイナップル、プルプル」と親御さんに手を動かしてもらおうと、声をあげて笑ってくれました。意外なことに「さくらんぼ、ぼー」がお子さんたちにとっても人気で、可愛いしぐさで「ぼー」してくれていました。

最後に、どーじょーせんせい演じるエプロンシアター「はらぺこかいじゅう」を見ていただきました。かいじゅうが食べ過ぎて注射を打つ場面では、おこさんたち全員に注射をして回ると、「いやー」「きゃー」などなど、歓声があがっていました。小さなお子さんにふれる機会のない学生たちも、すっかりお子さんたちのファンです。これからも、お子さんとともに成長する学生に会いに来ていただければと思います。



文責：村井

子育てサロン特別プログラム「せんせいとあそぼう」

2023年5月10日 実施報告

参加者：親子6組（子ども6名）

担当：道城先生/心理学部学生12名（A1・A2班）

指導教員 道城・村井 / 実習助手 谷山 / 保育士スタッフ 下村・福本

内容：保護者の居場所づくり

お子さんたちだけでなく保護者のみなさまにも参加いただき、一緒に楽しんでもらう

タイムテーブル

14:00～ はじまりのあいさつ、お名前呼び

14:10～ プログラム

14:30～ おわりのあいさつ

今日は「どーじょーせんせいとあそぼう」という、今年から始まった新しいプログラムの1回目でした。このプログラムは、「まなびー」がお子さんたちだけではなく、保護者のみなさまにとっても居心地の良い場所になることを願って、保護者のみなさまにもご参加いただく内容になっています。

最初に、学生がインタビューアーになり、ご参加のみなさまに自己紹介いただきました。次に、いろいろな質問が書かれたフリップの中から1つ選び、回答していただくプログラムを実施しました。「おススメのYouTube」や「お子さんのカワイイと思う仕草」などなど、予想外の質問にも保護者のみなさまから素敵な回答が次々に寄せられて、学生たちも興味津々！大変盛り上がりました。保護者のみなさまとの交流後、お子さんに人気の絵本「ぴよーん」の大型絵本を使って、絵本の世界を楽しむ遊びを行いました。カエルになったり、ウサギになったり、年齢の高いお子さんはご自分で、小さなお子さんは保護者のおひざの上で全身を動かして遊びました。

最後に親子の触れ合い遊びを実施しました。「バスに乗って」はお子さんがとても好きな遊びです。学生も一緒に人形をひざの上に抱えて、右に左に揺れながらバスの旅を満喫しました。次に「ひつつきもつつき」でスキップを楽しんでプログラムを終了しました。

ご参加いただいたみなさまのご協力のおかげで楽しいひと時を過ごすことができました。これからも交流を大切にしたプログラムを提供できればと考えております。

